

2019年3月7日

報道関係各位

株式会社OKB総研

「OKB景況指数」2019年3月期調査報告

OKBグループのシンクタンク(株)OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 五藤 義徳)は、3ヵ月ごとに景況調査を行い「OKB景況指数(旧K-REX)」を公表しております。このたび、2019年3月期調査報告を取りまとめいたしましたのでご案内します。

調査結果要旨

景況の水準	水準は2期連続で低下。 依然好調ではあるものの、景況のけん引役だった企業活動で減速感がより鮮明に。
景況の方向	3ヵ月後は、愛知県、岐阜県とも弱含む見通し。企業活動を中心に慎重な見通しが広がる。個人消費は強含みの見通し。

OKB景況指数とは・・・

OKB大垣共立銀行の支店長を対象に3ヵ月ごとに調査を実施

東海3県にある**OKB大垣共立銀行の支店長を調査対象**としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を総合的に捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。

県域より狭い地域の景況の水準と方向を集計

「名古屋」、「西三河」、「西濃」など、**県域より狭い地域の景況水準を表す指標**を公表している。

(注) 東海3県の当該県域全体を対象としていない(OKB大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

資料配布場所：名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 中澤 TEL 0584-74-2615】

OKB景況指数（2019年3月期調査報告）

調査概要

- (1) 調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の法人取引のある支店の支店長
- (2) 調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気方向
- (3) 調査方法 2019年2月下旬に調査票を配付し、2月末までに回収

調査結果

景気的水準： 2期連続で低下。依然好調ではあるものの、企業活動で減速感がより鮮明に。

景気方向： 3ヵ月後は、愛知県、岐阜県とも企業活動を中心に弱含む見通し。個人消費は強含みの見通し。

	景気的水準(2019年3月期)	景気方向(3ヵ月後見通し)
全地域	<ul style="list-style-type: none"> ・景気全般は+17.8（前回比▲10.2）と2期連続で低下。依然好調ではあるものの減速感がより鮮明に。既にピークアウトしたとの声も。 	<ul style="list-style-type: none"> ・▲23.4と「悪化」超
	<p>(支店長コメント)</p> <p>自動車関連製造業や建設業を中心に東海経済は依然好調。ただし、米中貿易摩擦、中国経済の減速による生産調整や受注減といった影響が一部で出ており、先行きに慎重な企業が多い。一方、個人消費では、消費税増税前の駆け込み需要などから一定の伸びがみられる。</p>	
県別	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県では+21.1（前回比▲14.8）と2期連続で低下した。 ・岐阜県では+15.4（前回比▲6.4）と3期連続で低下した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県は▲31.0と「悪化」超 ・岐阜県は▲17.0と「悪化」超
	<p>(支店長コメント)</p> <p>・愛知県は、自動車関連、建設業を中心に受注好調であるも減速感がみられる。また、工作機械関連では中国経済減速による受注減や生産調整などの影響がみられる。先行きに慎重な企業が多い。</p> <p>・岐阜県は、自動車関連では受注増勢に一服感がみられるも好調を維持。工作機械関連や半導体関連などの業種で受注減少がみられる。また、アパレル、陶磁器など地場産業の業況は厳しい。</p>	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> ・東三河、飛騨・郡上を除く8地域でプラス水準となったものの、10地域中8地域が前回調査から低下。上昇したのは東濃・可茂の1地域のみで、飛騨・郡上、西三河、東尾張が大きく低下した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「良化」超 該当なし ・「悪化」超 名古屋、東尾張、西尾張、西三河、岐阜、西濃、東濃・可茂、飛騨・郡上、桑名・四日市
	<p>(支店長コメント)</p> <p>【西三河地域】 自動車関連の受注は好調を維持。ただし、部品の統一化・内製化を受け、金型製造など試作品関連では受注が大幅に減少。</p> <p>【西濃地域】 自動車関連を中心に受注安定。ただし、製造業の一部で、中国向け製品納入中止などの影響も見られ、見通しは不透明。</p>	
項目別	<ul style="list-style-type: none"> ・「全地域」を項目別に見ると、「雇用」が+74.6（前回比+1.8）と人手不足感は強く、労働需給は依然タイトな状況。「個人消費」は前回から上昇したものの、「生産活動」、「設備投資」、「企業収益」、「資金需要」が低下。好調だった企業活動に減速感がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「増加」超 「個人消費」 ・「減少」超 「生産活動」、「設備投資」、「企業収益」、「資金需要」 ・「不足」超 「雇用」
	<p>(支店長コメント)</p> <p>「個人消費」： 節約志向は続くものの、消費税増税を見据え、住宅や自動車などの高額品で駆け込み需要が見られる。増税までは一定の消費増が見込まれる。</p> <p>「生産活動」： 自動車関連の受注は好調を維持。工作機械、半導体関連では苦戦が目立つ。中国向け製品の受注取り止めといったケースも見られ、先行きを不安視する声も多い。</p> <p>「設備投資」： 製造業などで一定の積極的な動きはあるものの、生産活動の先行き不透明感を受け、慎重な姿勢が広がっている。</p> <p>「企業収益」： 足元の企業収益はますます好調。ただし、減収トレンドを見込む企業も多く、さらに人件費高騰などが圧迫要因となる。</p> <p>「雇用」： 全業種で慢性的な人手不足が続いており、新卒採用に苦慮している企業が多い。日本人の採用が困難であるため、外国人を受け入れる企業が増えている。</p>	

* (支店長コメント) は、該当エリア・項目の調査結果(水準・方向)と関連したコメントを掲載しています。

■指数および算出方法について

- ①「景気の水準」・・・調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。
 ②「景気の方角」・・・景気の「水準」に対して、景気の「方角」を示す指数。

右記の例の通り、各項目の回答にポイントを付与。支店の規模によるウェイト調整を行った上で、最高点が100、最低点が▲100となるように、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100を乗じて算出する。

地域の景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気の水準」(2019年3月期)

地域名	景気全般		個人消費		生産活動		設備投資		企業収益		資金需要		雇用	
	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し
名古屋	29.4(▲5.9)	↔	23.5(+14.7)	↔	32.4(▲17.6)	↔	23.5(▲11.8)	↔	23.5(▲2.9)	↔	▲5.9(▲8.8)	↔	76.5(0.0)	↗
東尾張	22.0(▲22.0)	↔	10.0(+8.0)	↗	30.0(▲14.0)	↔	26.0(▲20.0)	↔	24.0(▲20.0)	↔	18.0(+18.0)	↔	84.0(+16.0)	↗
西尾張	13.9(▲5.6)	↔	▲2.8(▲16.7)	↔	16.7(▲5.6)	↔	11.1(▲22.2)	↗	2.8(▲13.9)	↔	▲11.1(▲5.6)	↔	80.6(+2.8)	↗
西三河	25.0(▲37.5)	↔	12.5(▲25.0)	↗	25.0(▲37.5)	↔	25.0(▲37.5)	↔	12.5(▲25.0)	↔	12.5(▲25.0)	↔	87.5(+25.0)	↗
東三河	0.0(0.0)	↔	0.0(0.0)	↔	0.0(0.0)	↔	▲16.7(0.0)	↔	0.0(0.0)	↔	0.0(0.0)	↔	66.7(0.0)	↔
岐阜	17.4(▲8.1)	↔	3.5(+3.5)	↔	17.4(▲18.6)	↔	8.1(▲11.6)	↔	11.6(▲8.1)	↔	▲4.7(▲1.2)	↔	70.9(▲2.3)	↗
西濃	25.9(▲5.6)	↔	7.4(+5.6)	↗	27.8(▲1.9)	↔	18.5(+3.7)	↔	14.8(▲11.1)	↔	▲9.3(+3.7)	↔	83.3(+1.9)	↗
東濃・可茂	11.1(+11.1)	↔	22.2(+33.3)	↗	5.6(0.0)	↔	5.6(▲5.6)	↔	0.0(0.0)	↔	▲5.6(0.0)	↔	55.6(▲11.1)	↔
飛騨・郡上	▲33.3(▲50.0)	↔	0.0(+16.7)	↔	▲16.7(▲33.3)	↔	16.7(0.0)	↔	▲16.7(▲50.0)	↔	16.7(0.0)	↔	83.3(+16.7)	↗
桑名・四日市	16.7(▲16.7)	↔	0.0(0.0)	↔	16.7(▲16.7)	↔	16.7(▲16.7)	↔	16.7(0.0)	↔	▲16.7(▲16.7)	↔	33.3(▲33.3)	↔
愛知県(5地域)	21.1(▲14.8)	↔	9.9(▲0.7)	↗	25.4(▲14.8)	↔	19.7(▲19.7)	↔	16.2(▲14.1)	↔	3.5(0.0)	↔	81.0(+9.2)	↗
岐阜県(4地域)	15.4(▲6.4)	↔	8.0(+10.6)	↗	16.0(▲11.2)	↔	11.2(▲5.3)	↔	8.5(▲10.1)	↔	▲4.8(+0.5)	↔	72.3(▲1.6)	↗
三重(1地域)	16.7(▲16.7)	↔	0.0(0.0)	↔	16.7(▲16.7)	↔	16.7(▲16.7)	↔	16.7(0.0)	↔	▲16.7(▲16.7)	↔	33.3(▲33.3)	↔
全地域	17.8(▲10.2)	↔	8.5(+5.6)	↗	19.9(▲12.9)	↔	14.9(▲11.7)	↔	12.0(▲11.4)	↔	▲1.8(▲0.3)	↔	74.6(+1.8)	↗

(※1) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイントを付与したうえで算出。

例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

(※2) ()内の前回は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

(※3) 見通しは「図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」の「良化(増加・不足) - 悪化(減少・過剰)」の数値が、プラスの場合は↗、マイナスは↔、0は↔で表記。

図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」(2019年6月期見通し)

(単位: %ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」 - 「悪化」	「増加」 - 「減少」	「増加」 - 「減少」	「増加」 - 「減少」	「増加」 - 「減少」	「増加」 - 「減少」	「不足」 - 「過剰」
名古屋	▲11.8	0.0	▲35.3	▲23.5	▲35.3	0.0	58.8
東尾張	▲48.0	8.0	▲28.0	▲28.0	▲36.0	▲8.0	20.0
西尾張	▲33.3	▲5.6	▲11.1	11.1	▲27.8	0.0	22.2
西三河	▲25.0	25.0	▲25.0	▲50.0	▲25.0	0.0	50.0
東三河	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
岐阜	▲25.6	0.0	▲14.0	▲23.3	▲20.9	▲9.3	9.3
西濃	▲3.7	7.4	▲3.7	▲3.7	▲7.4	▲25.9	25.9
東濃・可茂	▲11.1	11.1	▲22.2	▲11.1	▲22.2	0.0	▲11.1
飛騨・郡上	▲33.3	0.0	▲33.3	▲33.3	▲66.7	0.0	33.3
桑名・四日市	▲33.3	0.0	▲33.3	0.0	▲33.3	0.0	0.0
愛知県(5地域)	▲31.0	4.2	▲23.9	▲18.3	▲31.0	▲2.8	32.4
岐阜県(4地域)	▲17.0	4.3	▲13.8	▲16.0	▲20.2	▲11.7	11.7
三重(1地域)	▲33.3	0.0	▲33.3	0.0	▲33.3	0.0	0.0
全地域	▲23.4	4.1	▲18.7	▲16.4	▲25.1	▲7.6	19.9

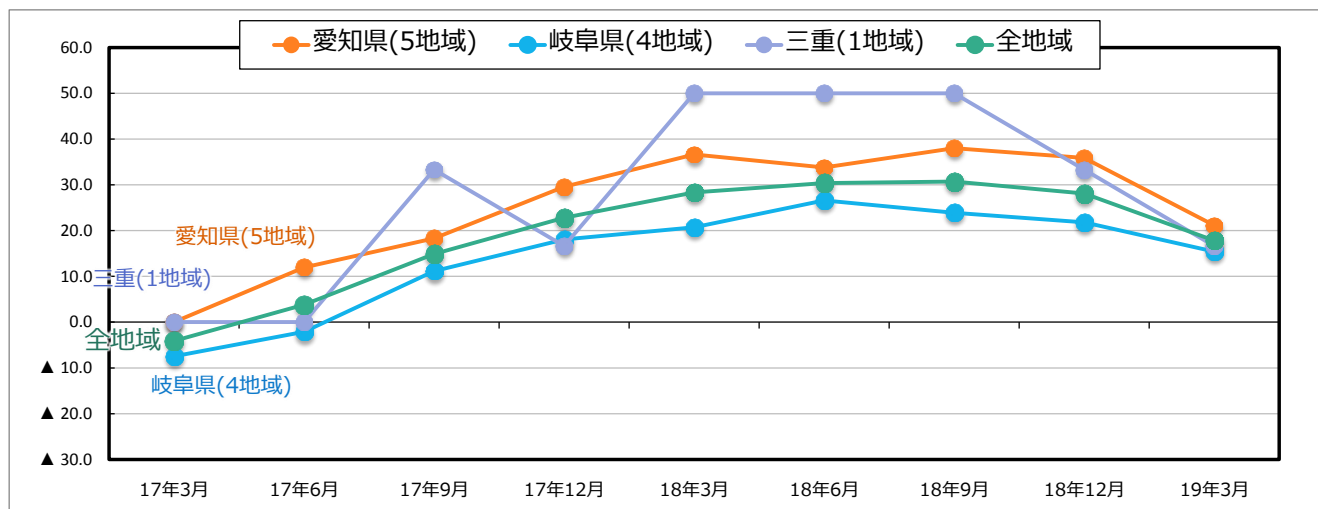
(※) 景気全般は、3ヵ月後には景気が今より「良くなりそう」と回答した割合(%) - 「悪くなりそう」と回答した割合(%)

他の6項目は、3ヵ月後には今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(%) - 「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(%)

「景気の水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

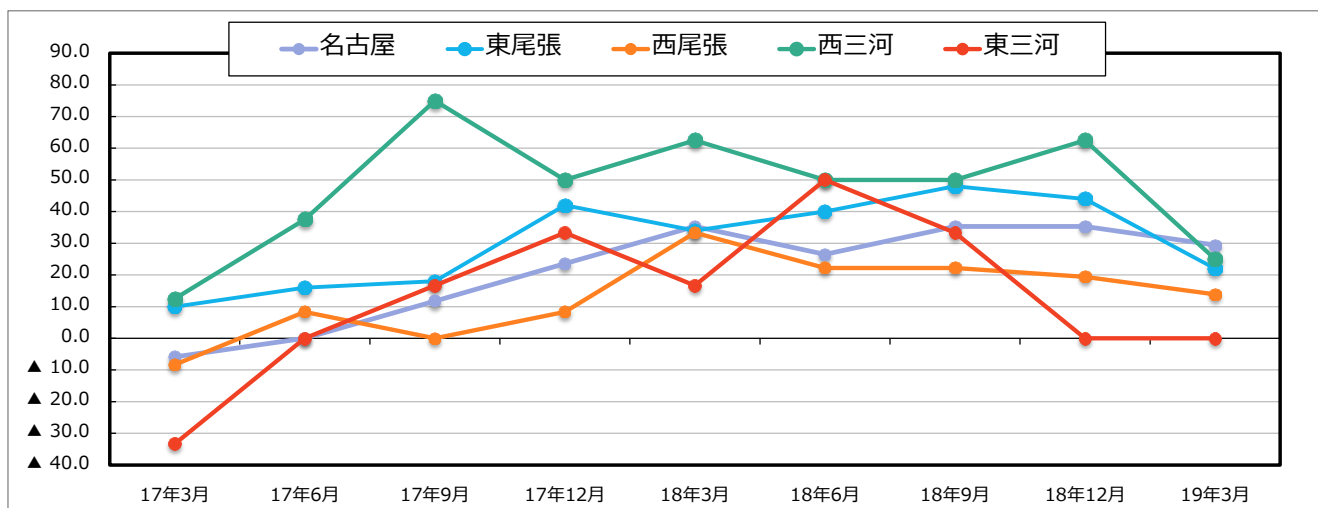
「景気の水準」の推移

■ 県別

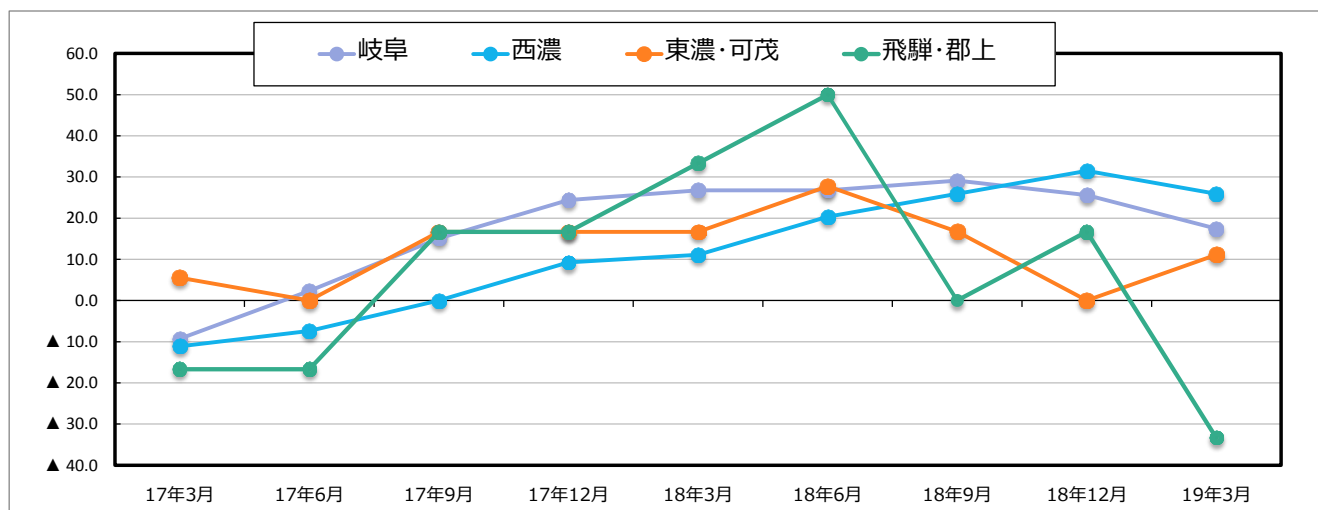


■ 地域別

① 愛知県内



② 岐阜県内



以上